

年間授業計画 新様式例

高等学校 令和8年度(1学年用) 教科 芸術 科目 音楽Ⅰ

教科: 芸術 科目: 音楽Ⅰ

単位数: 単位

対象学年組: 第 1学年 1組~ 4組

教科担当者: ( 1組: 中嶋 ) ( 2組: 中嶋 ) ( 3組: 中嶋 ) ( 4組: 中嶋 ) ( 組: ) ( 組: )

使用教科書: ( HODUSA① ) 教育実験社

教科 芸術 の目標:

【知識及び技術】芸術に関する各科目の特徴について理解するとともに、意图に基づいて表現するための技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、藝術の良さや美しさを探し深めたりすることができるようとする。

【学びに向かう力、人間性等】生懶に成り表現を愛好する心情を育むとともに、感性を高め心豊かな生活や社会を創造してゆく力を養う。

科目 書庫! の目標:

【知識及び技術】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
音楽の表現方法や形式について幅広く理解し、必要な技術を身に付けるようにする。	音楽の良さや美しさを探わったり、表現したりすることができるようとする。	音楽の幅広い活動を通して、生懶に成り表現を愛好する心情を育てるとともに、音楽文化についての理解を深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	確認 収 録 割 割 率	基準 達成 度	評価標準			知識 基 礎 的 な 理 解
				知	思	感	
1学期	音楽の表現への導入 【知識及び技術】 正しい発声を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 姿勢について考え、実践する。 【学びに向かう力、人間性等】 自ら工夫しながら実践する。	○	・姿勢や身体の使い方、呼吸法、発声法などを確認するための技術を身に付けるようにしているか。 ・自分がどのようないくつかのイメージをもってどのように歌うか 工夫しているか。	○	○	○	4
	ボビューラーソング 【知識及び技術】 リズムや拍の流れを感じ、のびやかに歌う。 【思考力、判断力、表現力等】 曲の特徴を感じ取り表現する。 【学びに向かう力、人間性等】いかに自分らしく、楽しく表現できる。	○	・実技テスト ・姿勢や身体の使い方、呼吸法、発声法などを確認するための技術を身に付けるようしているか。 ・自分がどのようないくつかのイメージをもってどのように歌うか 工夫しているか。	○	○	○	6
	ギター・ベース・カッショングに挑戦 【知識及び技術】 基本的なリズム符の復習。 【思考力、判断力、表現力等】手拍子、遠隔みを使いリズムをつくる。 【学びに向かう力、人間性等】各パートの役割を理解し、互いに拍惑をもってリズム打ちを練習する。	○○	・実技テスト ・リズムの複雑に開心を持ち、手足を使った身体表現ができたか。 ・より上いアンサンブルにしようとする意図をもって取り組んだか。	○	○	○	6
	イタリア語歌曲 Caro mio ben Ave Maria 【知識及び技術】 楽器の音色や特徴を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】テンポ、構造など覚えて表現する。 【学びに向かう力、人間性等】各パートの役割を理解し、互いに拍惑をもってリズム打ちを練習する。	○	・実技テスト ・フレーズが長い曲なので息をしっかりと支えコントロールすることができたか。 ・メロディーの美しさを味わいながら歌って歌おうとしているか。	○	○	○	4
2学期	藝術の表現を身に付け音楽を生かして演奏しよう。 【知識及び技術】樂器の要法を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】テンポ、構造など覚えて表現する。 【学びに向かう力、人間性等】1人になって一人で楽曲ができる。	○	・実技テスト ・スティック、ペダルを使い簡単な曲に合わせて演奏できるようになったか。 ・それぞれの楽器の音色や特徴を感じ取り音楽の楽しさや面白さを感じ取ることができたか。	○	○	○	12
	背景を描く音楽を味わおう 【知識及び技術】楽曲の歴史的背景や作曲者について学び、登場人物を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】音楽の背景と音楽ののかかわりがどう表現されているか。【学びに向かう力、人間性等】国や時代の背景を理解する。	○	・場面と音楽の動きが生み出す美しさや面白さを感じ成り味わっているか。 ・作曲者の思いや意図を理解し、楽曲の音色を味わうことができたか。 ・また感じとったことを言葉にしたりできる。	○	○	○	12
3学期	音楽を意識して合唱をしよう。 【知識及び技術】強弱記号や連想記号に留意する。 【思考力、判断力、表現力等】詩の内容を理解し、音楽の流れや音色を大切に歌う。【学びに向かう力、人間性等】日本語のイントネーションと旋律の動きを大切に歌う。	○	・合唱三部合唱「故郷」 合唱三部合唱「AMAZING GRACE」 ・一人一人が立体的に歌い、各パートの音の疎たりを意識する。 ・響きあうハモニーを味わい合唱の喜びを感受する。	○	○	○	10
	創作 【知識及び技術】和音、コードの理解をする。 【思考力、判断力、表現力等】何かをイメージし音型を探し、曲をつくる。【学びに向かう力、人間性等】始まり方、終わり方を工夫しまとめてある音楽をつくる。	○	・作品ができたら発表し合い、意見を交換することができる。 ・意見を参考に修正し、より良い作品にしようとするとする。	○	○	○	6 合計 60